



新潟県

胎内市  
Tainai city



NEXCO  
東日本

2022年2月10日

新潟県 胎内市

東日本高速道路株式会社 新潟支社

## E7 日本海東北自動車道 新潟県胎内市に設置する スマートICの正式名称が 「胎内スマートインターチェンジ」に決定しました

### 決定名称

### 胎内<sup>たいない</sup>スマートインターチェンジ

新潟県胎内市（市長・井畑<sup>いばた あきひこ</sup>明彦）と東日本高速道路株式会社新潟支社（新潟県新潟市 支社長・水口<sup>みずぐち かずゆき</sup>和之）が共同で事業を進めている E7 日本海東北自動車道に設置するスマートインターチェンジ（スマートIC）の正式名称が決定しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 名称の考え方

本スマートICの名称は、スマートICの所在地であり、胎内市のほぼ中央に位置するため、この名称といたしました。

#### 2. 名称決定までの経緯

本名称は、胎内市などで構成する胎内スマートインターチェンジ（仮称）地区協議会で検討をおこない、北陸ブロック道路標識適正化委員会新潟県部会の意見を踏まえ決定された名称原案をもとに、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構による所定の手続きを経て決定されました。

# 胎内スマートICの位置図と期待される効果

## 位置図と特徴

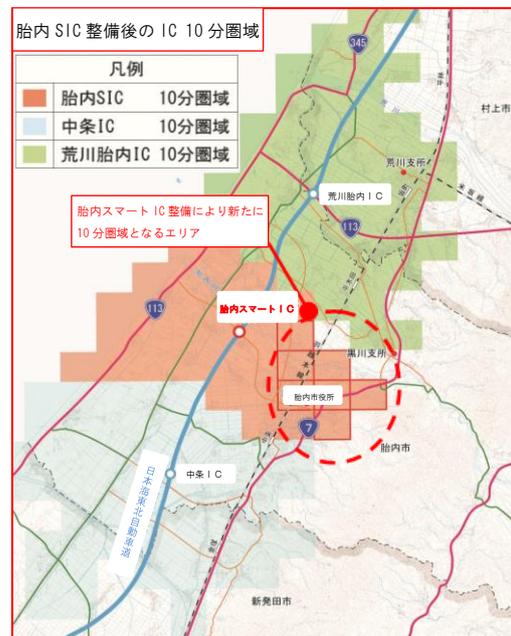
胎内スマートICは、ETC専用で、日本海東北自動車道の中条ICと荒川胎内ICの間に設置されます。胎内スマートICの開通により、日本海東北自動車道へのアクセス機能が強化され、様々な効果が期待されます。



## 期待される効果

### ・インターチェンジの利便性の向上とネットワークの強化

・これまで10分圏外だった胎内市役所周辺のエリアが胎内スマートICの10分圏域となり、市街地部のほぼ全エリアがICまで10分以内で到達可能となりネットワークの強化が期待できる。



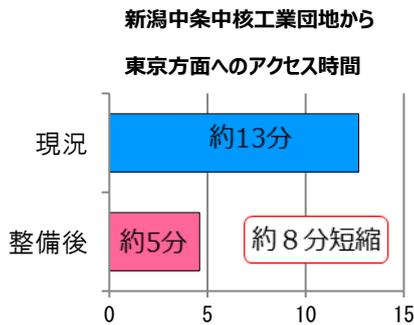
・救急医療搬送の効率化・定時性の確保

・胎内スマートICの整備により、胎内市内で就業人口が多い新潟中条中核工業団地周辺から三次救急医療施設である「県立新発田病院」までの搬送時間が9分短縮し、救急活動の支援寄与することが期待できる。



・企業立地の促進と雇用創出による地域活性化の支援

・胎内市には、世界のトップ企業(航空関連)とその関連企業が存在する。  
 ・胎内スマートICの整備により工業団地から高速道路へのアクセス性が向上し、更なる企業立地の増加及び新規雇用の創出、地域の活性化が期待できる。



・周辺地域の活性化(観光の支援)

・新潟中条中核工業団地笹川浜地区には、年間約3,000人の来客数が訪れる国内最大級のカートコース「スピードパーク新潟」が立地しており、胎内スマートICの整備により、高速道路ICからの所要時間が5分短縮し観光活性化に期待できる。  
 ・そのほか、胎内スマートICを中心として、市内に点在する観光施設どうしの周遊観光活性化が期待できる。

